

## 自分のキャリアをQOL（Quality of Life）

### の向上に活かしたい

リペロスタジオ リハ・リハ  
理学療法士  
石間伏 勝博



#### ■転職のきっかけ・動機を教えてください。

前職では大手企業関連会社の訪問リハビリテーションで理学療法士として勤務していました。訪問リハビリの業務に楽しみを感じることは出来ていましたが、利用者様にとってもっとこのようなサービスができれば？在宅と施設の連携がもっと必要ではないか？など「仕事」に対する疑問はあるものの自分の理想とすることを表現できないことに満足感を得られていませんでした。そんな時に、身近な地域に目を向けてリハビリに特化した訪問サービスと通所サービスを提供している大浦社長と出会い、地域ケア・地域リハビリテーション・介護予防への重要性を共感し、理想的なリハビリのカタチをリハ・リハで考えてみたいと思えたことが転職のきっかけです。

#### ■入社後の印象はいかがでしたか？

企業文化は、やはり前の会社とかなり違うと思いました。どこがどう違うかは残念ながらうまく言葉で表現できませんが、あえて言葉で表すとすると「若く可能性のある 会社」という表現があてはまると思います。また、新しいものを取り入れようという雰囲気を感じられ、上司や他の従業員などと飲みに行くと次はこういう事業や企画に挑戦したいとか良く聞きます。ひとりの理学療法士として勤務しているよりも、いろいろな機会を得ることができるのがリハ・リハの魅力です。

#### ■担当している仕事について教えてください。

入社してすぐに通所介護施設での利用者のアセスメントの標準化や運動プログラム導入のためのマニュアル作成などを担当しました。今は通所介護施設、訪問看護ステーションの両事業に関わり、様々な職種のスタッフと相談しながら、利用者様が安心して地域で過ごしていけるようにリハビリのアプローチに取り組んでいます。

当社のサービスは多くの職種のスタッフと協力して初めてカタチになるものなので、リハ・リハ全体としてもチームワークが欠かせません。職種間ごとで誤解を招くことなど大変なこともありますが、利用者様からの「こんなことができるようになった！」「〇〇まで外出できた！」などの言葉を聞くことでやりがいや楽しさを感じます。

■将来の目標について教えてください。

今後、日本はますます高齢社会が進んでいきます。ゆとりある高齢社会を実現するためにも、地域ケア・地域リハビリテーション・介護予防などを世間に浸透させることが重要だと感じています。そのため、制度の移り変わりにも柔軟に対応し、事業を推移させていくことはもちろんですが、新しい価値を創造するためにも「リハ・リハ」だからこそできる新しい取り組みや新しい発想に挑戦し、豊かな健康社会の実現に貢献できることが私の目標です。

